

令和4年度小諸高校学校目標（学校目標に対しての職員自己評価）

【1】教育方針と重点目標

教育方針	民主的な社会の進展に貢献できる健全な人間の育成を目指す。
長期的目標	上記実現のため、生徒に「つけるべき力」は次の通りとする。 1 自分から目的を設定し、積極的に行動していく「主体性」 2 社会の一員としての自覚と他者の立場を尊重しよりよい人間関係を形成する「社会力」
重点目標	1 生徒指導の充実 2 学習活動の充実 3 特別活動の充実 4 開かれた学校づくり ※様々な場面において、いじめ・体罰のない、安心・安全な学校作りをさらに推進していく。

【2】今年度の重点活動

重点目標	具体的目標	実施内容	理由
1 生徒指導の充実	①安心して学べる学校づくり	○いじめ暴力を許さない人権感覚の育成 ○相談室体制の充実 ○きずなネットの活用	・教育相談を利用する生徒は多く体制は整っているが、相談員等の人員不足も含め、相談室体制の更なる充実が課題。
	②交通ルール・マナーの向上	○交通安全教育の強化 ○交通安全街頭指導の実施 ○交通安全全校集会の実施	・安全指導はできている。
	③集団規律の確立・維持	○係と学年・担任の連絡を密にして共通認識の下に指導等にあたる ○SNS使用法の注意喚起を随時行う ○アルバイトに関する生徒・保護者・職員の共通理解を図る ○小諸高校生としてふさわしい身だしなみの確立 生徒会との連携も図り小諸新校へと繋げていく ○小諸新校の校則・校風を模索していく	・学校全体としての共通した指導が必要。 ・小諸高校生としてふさわしい身だしなみの確立に課題があると感じる。（化粧など） ・アルバイト違反があった。 ・共通認識を図ることが課題。 ・学校指定ジャージがほぼ制服のようにしている。
2 学習活動の充実	① 学力の定着	○家庭学習の習慣化のために学習時間の調査や週末課題など実施 ○外部模試の事前事後指導や、各種検定の活用	・各種検定はもう少し受検者を増やしたい。 ・模試の活用が不十分。 ・家庭学習の習慣化について現状の把握が必要。 ・模試の事後指導が不十分であった。
	②進路指導の充実	○小諸ふれあい講座、職場体験などへの積極的参加の促進 ○基礎学力の一層の充実 ○現在の入試状況、社会情勢に関して、生徒・保護者に最新情報などについてHPを利用して提供	・将来の話を授業の中でも交えながらより真剣に考えてもらう機会作りができた。 ・基礎学力の定着は今後の課題。
	③学習指導の研究と実践	○ICTを活用した授業研修など校内研修会の実施 ○研究授業の実施 ○校内公開授業週間を設定し、授業見学による授業形態の研究	・ICT研修等行われているため、積極的にICT活用に取り組んだ。
3 特別活動の充実	①生徒会活動の充実	○生徒会活動を通じた人間形成、集団づくり ○生徒が主体的に活動できる場所の設定 ○コロナ禍の中で、これまでの活動の見直しと発展的継承	・生徒の主体性を育む取り組みが多くできた。 ・生徒会が主体的に現状に沿って行った。 ・野岸祭が実施できたことは良かった。
	②クラブ活動の充実	○クラブ活動を通じた人間形成、集団づくり ○目標達成に向けての努力過程の重視	・素晴らしい集団ができていた。 ・魅力あるクラブのありかたを検討し、クラブ加入の促進に繋げる。
	③HR活動の充実	○HR活動を通じた人間形成、集団づくり ○LHR活動での自主性、探究心を活かす活動 ○生徒が主体となった学年行事企画運営	・各クラスでの活動は充実。 ・より生徒の主体的な活動を引き出したい。

4 開かれた 学校 づくり	①開かれた学校 づくり	○PTA活動の充実 ○学校評議員会の充実 ○生徒・保護者アンケートの実施	・保護者アンケートを含む各種アンケートの回答率に課題がある。 ・PTA活動がコロナにより予定のとおり実施できなかった。
	②小諸高校からの 情報発信	○ホームページの充実 ○学年・学級通信の充実 ○進路通信、「小諸高校ニュース」の充実 ○きずなネットの活用	・きずなネットを活用して各種情報を発信出来ている。
	③外部との連携	○市内各校・地域諸団体と連携を推進 ○外部向け公開授業の実施	・地域探究等での地域との関わり。 ・1学年探究で小諸市と連携した取り組みは今後も継続してほしい。